

島根県益田市匹見下地区

地域づくりのテーマ: ささえ愛 笑顔がつくるいいの里



①地区の概要

【地区の現況】

人口、高齢化率、世帯数(令和5年1月末時点)
人口215人 高齢化率69.8% 世帯数136世帯

【地区の魅力】

匹見川、中国山地の自然と豊かな恵み
そこに暮らす人々のやさしさと支えあい

【地区の課題】

少子高齢化による過疎
高齢者の移動方法の確保と買い物支援
地域住民の健康づくりと生きがい対策、生活不安の解消、
集落の運営、担い手の確保、空き家対策、農地の維持管理
など課題は山積み。

②実施団体の概要

【団体の名称】

匹見下いいの里づくり協議会

【設立年月日】

平成28年4月24日

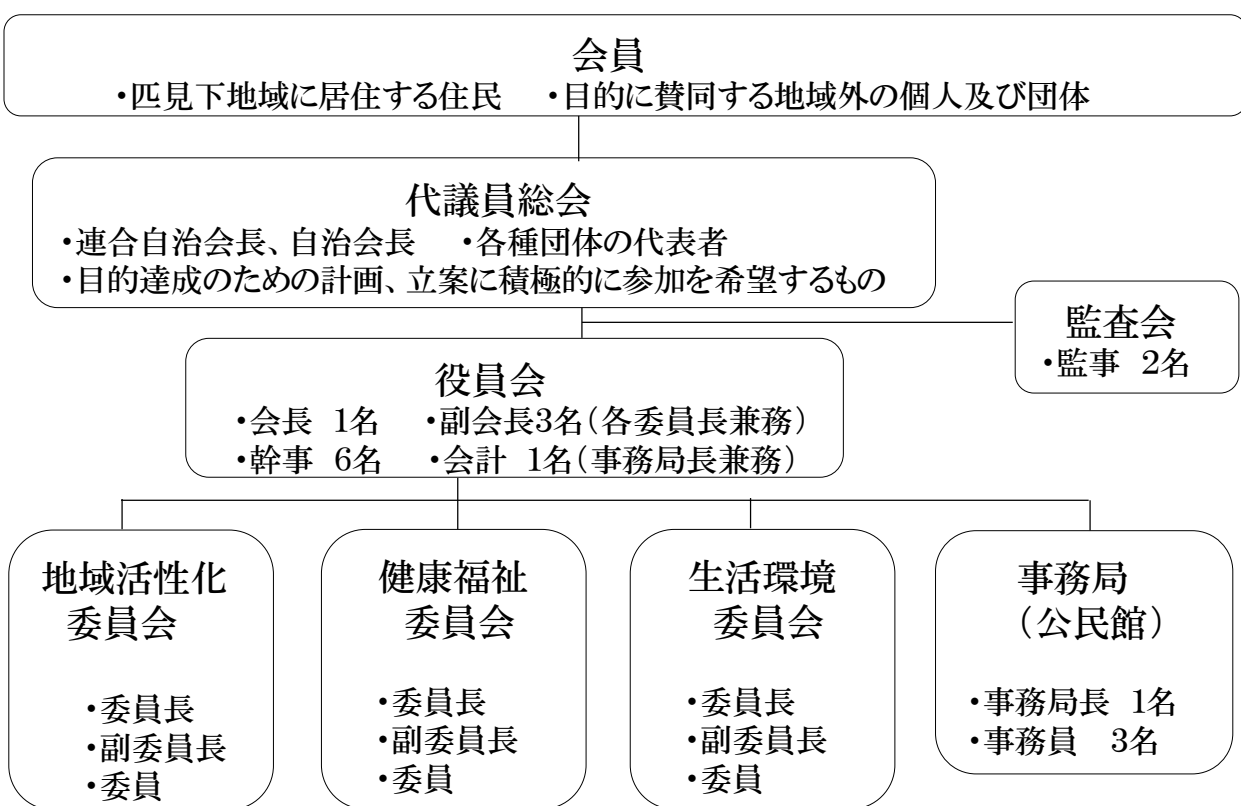
【構成団体、構成員】

- ・各連合自治会(4) 澄川寿会、内谷寿会
- ・各自治会(17) 関係団体(17)
- ・匹見下猟友会 賛助会員(個人)
- ・高齢者サロン(3)

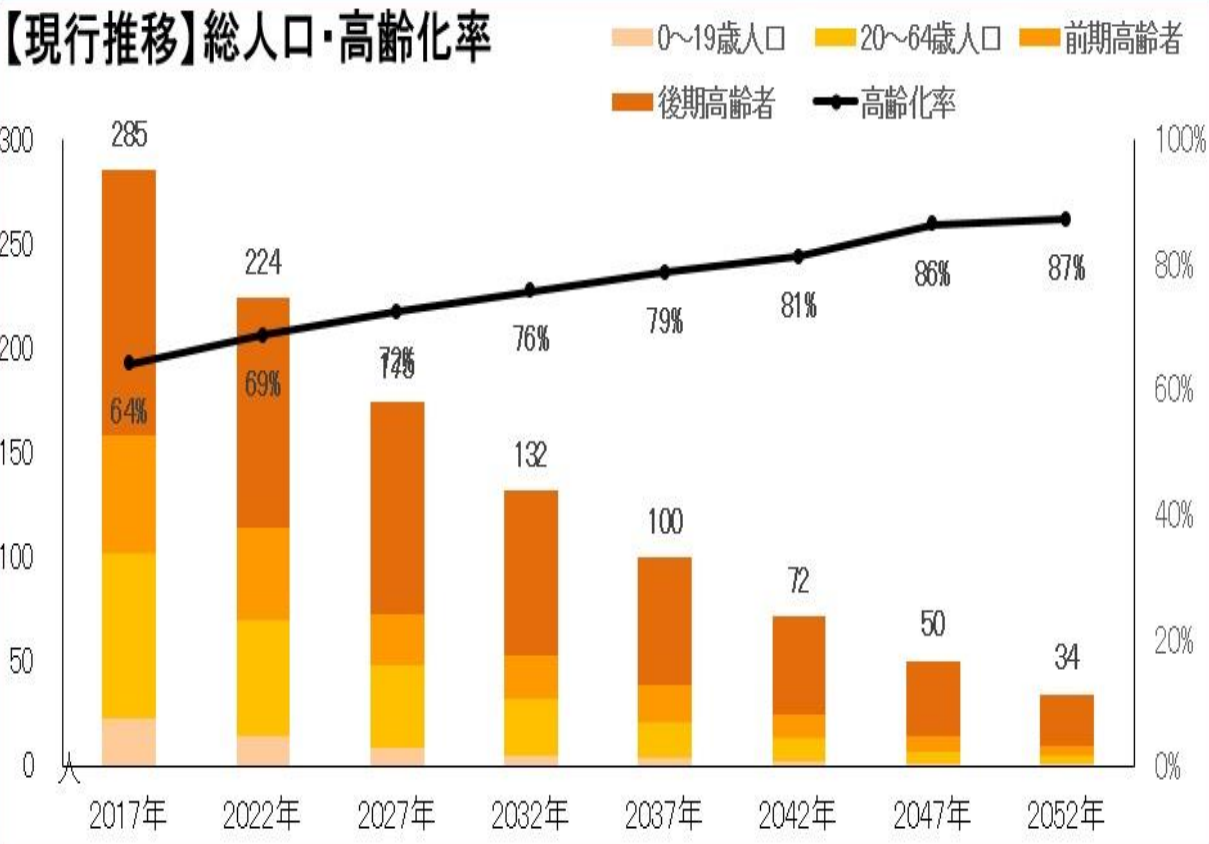
◎構成44団体の代表者や個人会員を代議員とし、この代議員で3つの委員会を作り、協議会の事業に取り組む。

- ・「地域活性化委員会」
- ・「健康福祉委員会」
- ・「生活環境委員会」

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

- ・地域の子供たちの成長と、地域住民のうるおいづくり
「いいの里っ子塾」の開催 ※コロナ禍で中止
 - ・地域住民の健康と交流の場づくり
100歳体操やグラウンド・ゴルフの定期開催。年2回の体力測定や専門家による健康講演会の実施。
 - ・人とのつながりを大切に、思いやる心を育む地区のイベント
「地区民運動会」→レクリエーション大会として開催
 - ・地域資源を利用した世代間交流や他地域の団体との交流
「とちの実交流会」「明誠高校キャリアサポート」など
 - ・鳥獣被害対策の実証実験
「サル侵入防止用電牧柵」設置、地区をあげての「動物駆除用花火の追い払い実験」
 - ・防災対策として「消火器、火災警報器、告知放送端末」点検
 - ・匹見町(匹見上、匹見下、道川)3地区と協力した取り組み
「健康フェスティバル」「産業文化祭」「各種講演の共催」など
- ※コロナ禍で多くの事業や計画が中止になったが、中止により人づきあいが疎遠になることが懸念される



【団体長メッセージ】いいの里づくり協議会 大賀明会長

コロナ禍の3年で、人々の生活様式が変わり、私たち高齢者をめぐる環境も大きく変化しました。感染を恐れて人との関わりが減少傾向にありました。しかし、今年度は感染対策を取りながら行事を再開することが増えました。地域の皆さんも声を掛け合い参加し、笑顔が戻ってきたのは嬉しいことです。皆さんとともに元気あふれる地域づくりを目指していきたいと思います！

島根県益田市匹見下地区

⑤こんなことが話し合われています



いいの里づくり協議会 定期総会
事業報告、収支報告、事業計画、収支予算などが質疑応答・承認される中、伝統文化の継承についても話し合われた。「田植え囃子」の復活・継承について活性化委員会で検討していくことを確認。役員改選・・・選考委員会の結果、「匹見下いいの里づくり協議会」会長に「大賀 明さん」を選任。地域活性化委員会、健康福祉委員会、生活環境委員会の3つの委員会も、委員長、副委員を選任。

地域活性化委員会
生活のうるおいづくり支援・・・県内の美術館・博物館・映画館などに各自で行った場合、500円を補助。
いいの里っ子塾・・・U・Iターン者との交流会と合同で行うこととしたが12月の開催直前にコロナ禍で中止とした。
おかえりなさい旗・・・GW、盆、正月に帰省者歓迎の旗を立てているが、コロナ禍により、今年度は正月のみ実施。
匹見下ふるさと祭り・・・11月開催予定もコロナ禍で中止。

健康福祉委員会
地区民運動会・・・レクリエーション大会とし、より多くの住民の参加を促す。
とちの実交流会・・・例年通りの開催予定とし、地区民と準備を進める。
ふれあいボランティア訪問・・・「ふれあいの園」ボランティア訪問を10月から再開。
いきいき100歳体操・・・会館、広瀬、石谷で開催。
グラウンド・ゴルフ大会・・・ナイター5回広瀬1回実施。
健康講演会と神楽鑑賞を実施。

生活環境委員会
動物駆除花火講習会・・・9月開催。
消火器・火災報知器・告知放送端末の点検・・・広瀬地区にて10月開催。
地区の美化活動への支援・・・実施地区(団体)への費用支援。
買い物支援・・・生協の利用拡大について検討。
不用品縁結び事業・・・利用が低調。どうすれば利用してもらえるか検討中。

⑥こんな地域づくりを行なっています



地域活性化委員会
明誠高校キャリアサポート活動として、100歳体操や、とちの実交流会に参加し地元の方と交流の場を持った。
コロナ禍により、匹見下ふるさと祭り、高槻サマーフレンドシップ、いいの里っ子塾は中止。川崎市ふれあいサマーキャンプは匹見下での受け入れが中止となった。「紅葉ロードレース」の代わりに「匹見健康フェスティバル」が開催され、匹見下地区としてグラウンドゴルフの運営などに携わった。
伝統文化の継承の支援として巫女舞を支援。また「田植え囃子」については継続して復活を検討中。



健康福祉委員会
いきいき100歳体操・・・住民の参加意識、移動負担の軽減などを考慮し、会館だけでなく、広瀬、石谷の2地域においても開催。月に1度は、地域の方の顔を拝見するとともに、体操後は“お茶の時間”を設けて、様々な話を通してふれあう時間としている。
レクリエーション大会・・・これまで地区民運動会として行ってきたが、より多くの住民に参加いただけるよう、モルックやボッチャといったNewスポーツ、輪投げ、玉入れなどの軽スポーツ、グラウンドゴルフを実施。園児からお爺ちゃんお婆ちゃんの合わせて55名が参加。



生活環境委員会
昨年度に続き「消火器・火災報知器・告知放送端末の点検」を行いました。これは家庭にある防災機器等の電池切れや、期限切れなどを点検し、いざという時に使えるようにするものです。今年度は広瀬地区で実施。独居世帯を中心に回り、設備の点検とともに、近況、困りごとなどを聞いて回りました。こうした、声掛けは大事なことで改めて感じました。交通弱者への対応として、石見交通バス、福祉タクシー、やまびこバスの利用促進と体験会の実施などについて住民アンケートを実施。現在、集計を終え、対策を検討していく段階。

お問い合わせ先

☆匹見下いいの里づくり協議会☆

〒 698-1221 益田市匹見町イ327 (匹見下公民館内)

☎ 0856-56-0910 ☎ Fax 0856-56-0912